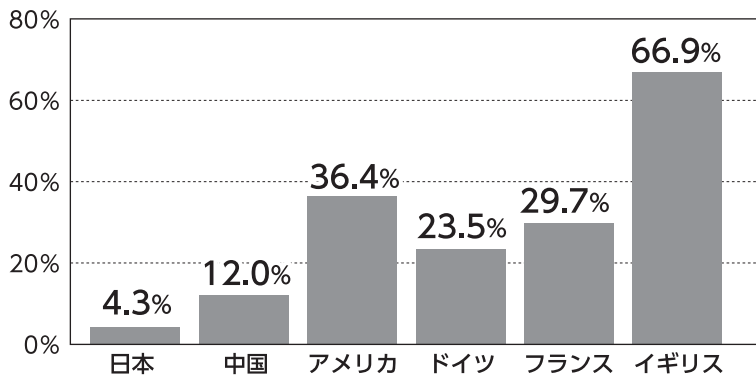


いのちと安全を守る地域建設産業の発展を 第28回全国建設研究・交流集会在開催

対内直接投資の対名目GDP比率(2018年末)



出所:「ファイナンス」2019年10月(財務省広報誌)

この集会は、より良い建設産業を構築していくことをめざして、関連する諸団体、個人が学習、交流することを目的としています。第28回集会では「いのちと安全を守る地域建設産業の発展に向けて」をテーマとして、1日目に記念講演・特別報告・現地報告、2日目に4つの分科会が開催されました。以下、1日目の概要を紹介します。

出ていく一方のグローバル化

また、先進国の中で日本だけ賃金がふえていない理由の一つとして、日本に対する直接投資が少ないことが指摘されました。アメリカなどの企業は海外で生産する場合は、アメリカには日本企業が進出して、労働者の雇用が守られますが、日本への直接投資は

現地報告 原発事故から11年 福島は今

伊東達也連絡センター代表委員

現地報告は、集会開催地であるいわき市在住の伊東達也さん(原発問題住民運動全国連絡センター代表委員)が福島島の状況について話しまし



伊東さん

た。事故から11年8カ月が経過し、福島のことほとんど話題にならず、何が問題となっていないかわからないという声を聞くようになったとのこと。事故から11年半が経過して、

コロナ対策融資の返済が課題

コロナ後の中小業者の最も大きな課題の一つは、コロナ対策融資の返済です。中小企業ほど、コロナ関連融資に頼



高橋さん

全建総連の高橋健二住宅対策部長からは、資材・建材価格の高騰が続くなかでの取り組みや運動課題が報告されました。

全建総連では、このアンケート結果などをもとにして、政策や行政への要請行動を行っています。具体的な要請内容は、エンドユーザーの負担軽減策を求めるものや住宅

特別報告

資材の高騰と運動課題 高橋健二全建総連住宅対策部長

今後、仲間を支援していくために必要な取り組みとして、①継続して実態把握を行うこと、②要請の結果、実現した制度・事業の活用を促進すること、③価格転嫁できる取り組みを進めること、④地域工務店の優位性をアピールすること、などを進めていくことが報告されました。

記念講演

中小企業とコロナ危機後の日本経済

吉田敬一 駒澤大学名誉教授



吉田さん

②コロナ後の中小業者の課題、③地域特性を活かしたローカル循環の再生と中小小工業の役割、というものです。アベノミクスのもとで続けられてきた大規模金融緩和・円安政策の目的の一つは、円安で輸出がふえ、下請にも仕事が行き、賃金もふえていくという、トリクルダウンによる経済活性化をめざすというものでした。ところが、アベノミクスでは円安が進んでも輸出はふえませんでした。吉田教授によれば、その理由は生産の海外移転です。今や日本車

の3分の2は海外でつくられており、円安になったからと言って、安くして輸出することではできません。同じ自動車でも日本でも海外でも生産しているからです。

海外進出する企業がいる一方で国内に進出する企業がいるという、双方のグローバルイゼーションが起きているのですが、日本の製造業の場合、実態経済に対する直接投資がなく、出ていく一方のグローバルイゼーションとなっており、経済停滞は当たり前というわけですね。

っていますが、これから返済していかなければなりません。さらに原材料価格高騰による価格転嫁問題も起こっています。なぜ価格転嫁できないのかと言え、最も大きな理由は販売先との交渉が困難であるということです。中小企業の主な販売先は元請企業です。元請の大手企業に対する価格交渉のきびしい実態が現れています。

ローカル循環の再生を

経済循環とは、資金調達→労働力・原材料調達→生産・加工→卸売機能→小売り・販売機能→売上代金の還流→再投資、という流れを意味しています。調査結果からは、業績が改善していかなくとも賃金を引き上げている実態がわかります。中小企業は生産性が低いとかゾンビ企業などと言われることがありますが、現場実態をみている限りだけの淘汰理論だと言えます。

投資、という流れを意味します。そして、経済循環には、生産・供給される製品・サービスの特性および市場規模に応じて①ローカル循環、②ナショナル循環、③グローバル循環があります。このうち、ローカル循環は、地場産業に代表される地域単位での企業間の分業構造が作られており、地域経済循環を構築しています。

地産地消と言いますが、この「消」は地域で消費するという意味だけでなく、地域の商人が商う「地産地消」ということが重要です。

日本経済を変えるといっても一挙に変えていくことはできません。今何ができるのかを考えながら、一步一步前進していく運動を進めていくことが重要です。